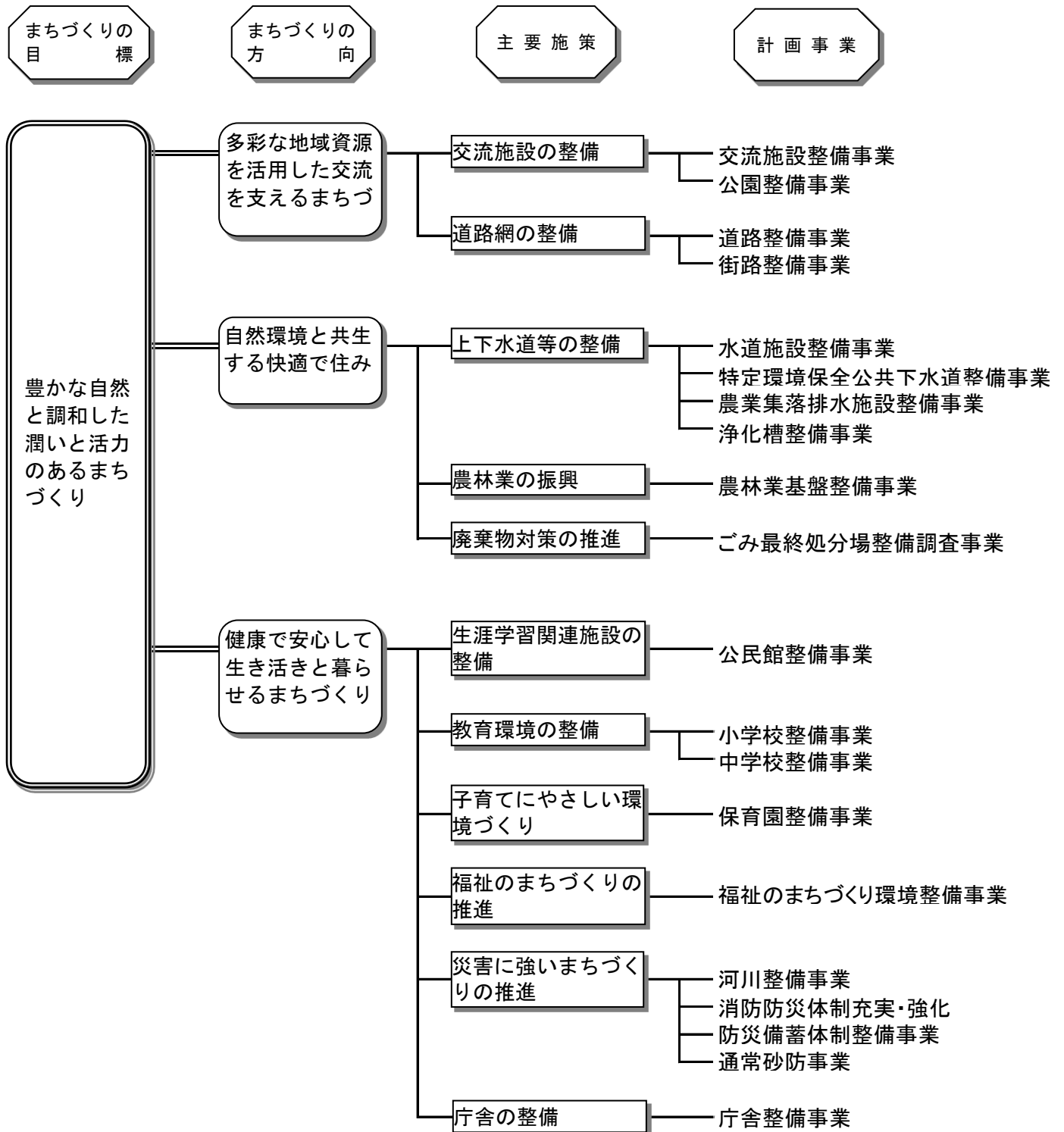


第3 事業計画

施策体系

基本構想に基づき、次のような施策の展開を図っていきます。



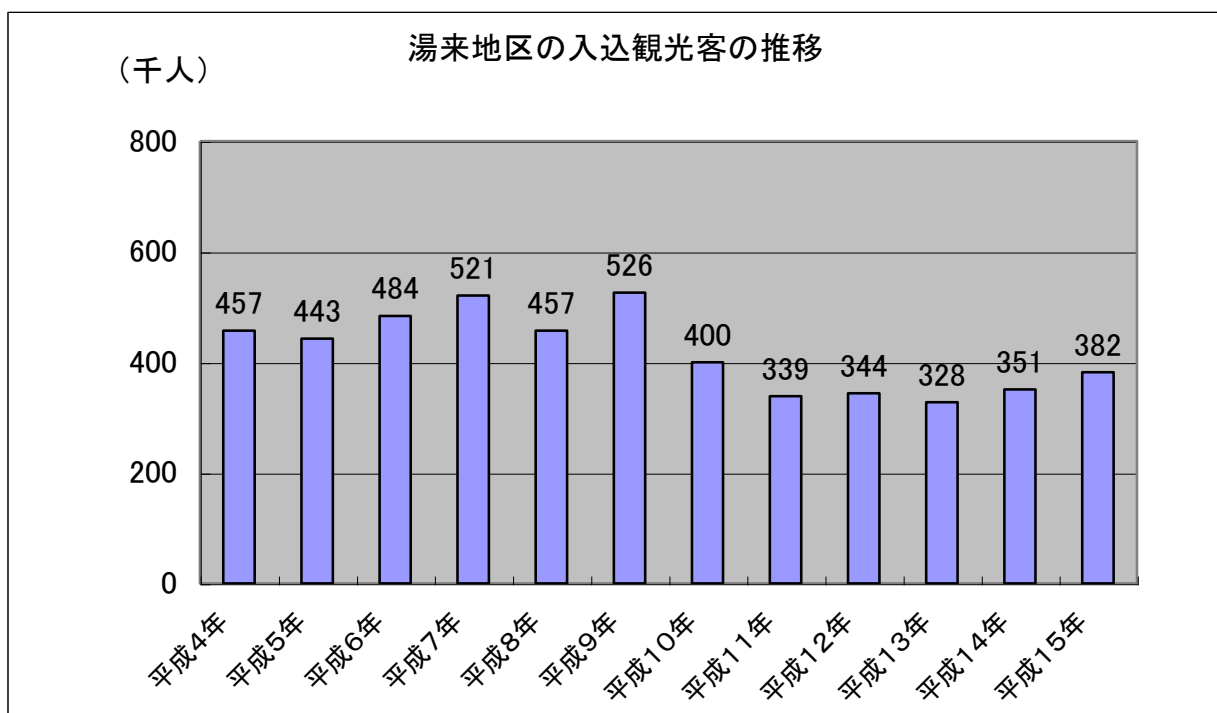
1 多彩な地域資源を活用した交流を支えるまちづくり

湯来地区は、湯来温泉、湯の山温泉という古くから栄えた歴史と由緒ある2つの温泉を擁し、広島県を代表する温泉地として広く親しまれてきました。

また、湯来地区は太田川の上流域と八幡川の源流域に当たり、清流や滝、景勝地、山並みなど豊かな自然に恵まれ、自然観察や体験学習、レクリエーションなどに毎年多くの人を訪れています。

しかしながら、国民宿舎湯来ロッジの老朽化、県内外での類似施設の増加、道路交通網整備の遅れなどにより、平成9年（1997年）をピークに観光客が減少しており、せっかくの地域資源を十分活用しているとは言えない状況にあります。

湯来地区が、従来の活気を取り戻し、発展していくためには、温泉や豊かな自然などの地域資源を体験学習や憩いの場として活用するとともに、温泉を活用した新たな交流施設とそれを支える道路網の整備が必要です。



(1) 交流施設の整備

交流の促進は、住民が地域の価値を再認識し、誇りと愛着をはぐくむ契機となるだけでなく、広く他地域から来訪者を迎えることにより、地域の活性化が図られます。

湯来地区の最大の特性である温泉と自然を活用し、国内外や地域間の交流を促進するとともに、交流・体験などの新たな観光ニーズに対応するため、老朽化した国民宿舎湯来ロッジに替え、住民や来訪者の癒しとふれあいの場として、多彩な機能を有する新たな交流施設を整備します。また、新たに整備する交流施設を核として、地区内の多くの地域資源のネットワーク化を図り、地域全体としての魅力を生み出すとともに、湯の山温泉館やクアハウス湯の山をはじめとする既存の交流施設の有効活用を促進します。

さらに、森林、溪流などの自然やそこに息づくホテル、ヤマメなどの生物とふれあえる場を確保するため、ホテルの里遊歩道や公園を整備するとともに、「湯来温泉ホテルまつり」や「湯の山温泉さくらまつり」などの祭行事や「神楽」をはじめとする伝統芸能などを生かし、広島市が進めるビジターズ倍増計画の一翼を担う地区として、温泉・健康・自然・癒し・ふれあいなど多様な要素をあわせもった、魅力あるまちづくりを進めます。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
交流施設整備事業	○温泉を活用した交流施設及び周辺整備 ○ホテルの里遊歩道の整備	21億4,400万円
公園整備事業	○公園の整備	

(2) 道路網の整備

湯来地区の恵まれた地域資源を有効に活用し、ふれあいと交流をはぐくむまちづくりを促進していくためには、交通安全施設等の整備された安全で快適な道路網を計画的に整備することが必要です。

国道433号、国道488号、県道広島湯来線、県道五日市筒賀線などの道路整備や都市計画道路畑口寺田線などの整備を推進し、広島市域や周辺市町からのアクセスの向上を図ります。

また、地区内の各地域間を結び幹線道路と接続する生活道路は、未整備箇所が多く日常生活や緊急車両の通行に支障をきたしています。

地区全体が、一体感を持って発展し、より活発な交流が促進されるよう、町道十文字葛郷線などの町道の整備を推進します。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ○国道 433 号の整備 ○国道 488 号の整備 ○国道 191 号の整備 ○県道五日市筒賀線の整備 ○県道広島湯来線の整備 ○県道久地伏谷線の整備 ○県道川角佐伯線の整備 ○県道白砂玖島線の整備 ○町道（十文字葛郷線、湯の山線など）の整備 	220 億 5,800 万円
街路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ○畑口寺田線・吉見倉重線の整備 ○駅前線の整備 	

2 自然環境と共生する快適で住みよいまちづくり

湯来地区は、都市近郊にありながら緑あふれる山々と清らかな川、澄んだ空気に象徴される豊かな自然環境に恵まれています。しかしながら、急峻な山や谷が多く、地形的な制約を受けることなどから、上下水道などの生活基盤施設の整備が遅れています。

ゆとりある居住環境や豊かな自然の恩恵を享受できる潤いのある生活を実現するため、森林、河川などの自然環境を良好な状態に保ちながら、それぞれの地域の特性に応じた生活環境の整備が必要です。

また地区内には、長年の管理により美しく維持され、景観としても価値のある森林や農地が残されていますが、生産性は低下してきています。

農林業の経営安定と振興を図り、緑豊かな森林や農地を維持するためには、それぞれの地域の特性を生かした生産基盤の整備が必要です。

(1) 上下水道等の整備

上水道は、住民の暮らしや社会経済活動を支える重要なライフライン（生命線）であることから、安全で良質な水を安定して供給する必要があります。

このため、簡易水道等の水道施設に常時監視装置などを設置し、水道水の安全性と安定性の向上を図ります。

下水道は、水洗化による生活環境の改善、公共用水域の水質保全などの役割をもっています。

水内川周辺で行っている特定環境保全公共下水道整備を継続するとともに、農業集落排水施設*として鹿ノ道地区の排水施設の整備を推進します。

また、下水道施設未整備地区においては、浄化槽の設置補助を行い、適正な生活排水の処理を促進します。さらに、既存の農業集落排水施設に常時監視装置などを設置し、事故発生時にも対応できる汚水処理体制を確保します。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
水道施設整備事業	○水道施設の安全対策	15億7,400万円
特定環境保全公共下水道整備事業	○特定環境保全公共下水道の整備（水内川処理区）	

農業集落排水施設整備事業	○給排水施設の整備（鹿ノ道地区） ○排水施設の安全対策	
浄化槽整備事業	○浄化槽の設置補助	

(2) 農林業の振興

農林業は、新鮮な食料の安定供給や木材等の生産はもとより、水源かん養、自然環境や景観の保全、保健・休養の場や自然・文化資源の提供など、多くの公益的機能を有しており、快適で住みよい地域づくりを進めていくうえで欠くことのできない重要な役割を担っています。

湯来地区の産業は、農林業を中心に発展してきましたが、地形的条件が不利な耕地が多いうえ、昭和 30 年代からの高度経済成長に伴う兼業農家・林家の増加や担い手の高齢化などにより、生産性が低下してきています。

湯来地区の特性を生かした農林業の振興を図り、人に潤いと安らぎを与える緑豊かな農村環境づくりを促進するため、ほ場整備、農道・農業用水路の整備などの農業生産基盤整備を進めるとともに、活力ある森林の育成を図るため、林業基盤整備を計画的に推進します。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
農林業基盤整備事業	○農道（重光農道、鹿道農道など）の整備 ○林道（天上滝谷線、麦ヶ平線）の整備 ○農業用水路の整備	5億9,300万円 （土地改良事業、森林居住環境整備事業に必要な事業費を含む。）
	○土地改良事業 ○森林居住環境整備事業（太田川林業地基石幹線）	（県事業）

(3) 廃棄物対策の推進

環境を保全し、豊かで快適な生活環境を実現していくためには、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから脱却し、環境への負荷の少ない「循環型社会*」の実現が急務となっています。

廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進するとともに、発生した廃棄物を適正に処理する環境に配慮した処理施設を確保するため、湯来地区へのごみ最終処分場*の整備に向けて調査を行います。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
ごみ最終処分場整備調査事業	○ごみ最終処分場整備調査	1億4,300万円

3 健康で安心して生き生きと暮らせるまちづくり

平成 12 年（2000 年）の国勢調査によると、湯来地区の総人口に占める 65 歳以上の人の割合は 25.9%（広島市は 14.2%）、15 歳未満の人の割合は 13.6%（広島市は 15.4%）となっており、少子・高齢化が顕著に表れています。

今後、ますます複雑かつ多様化する福祉ニーズに的確に対応するため、保健、医療、福祉サービスの一層の充実を図り、だれもが住みなれた地域で、安全で快適に生活し、安らぎを感じることができるよう福祉のまちづくりを進めていきます。

また、高齢社会の進展や社会環境の変化等に的確に対応していくためには、地域や行政の情報化を計画的かつ効率的に推進していくとともに、幅広い世代、新しい時代に対応できる生涯学習環境の整備や、子どもが輝く学校教育の充実に取り組んでいく必要があります。

さらに、日常生活における安全や安心を確保するため、災害に強いまちづくりを推進し、災害等に対し迅速に対応できる消防防災体制の充実・強化を図るとともに、交通安全施設等の整備や犯罪のないまちづくりを推進する必要があります。

(1) 生涯学習関連施設の整備

国際化や少子・高齢化、情報化の進展など社会が大きく変化していること、また、社会の成熟化や自由時間の増加などに伴い、心の豊かさを志向し生きがいや様々な社会参加を求める住民の学習需要が高まっていることを踏まえ、社会教育の充実、住民の生涯にわたる幅広い学習の推進に積極的に取り組んでいく必要があります。

生涯学習の核となる施設として、湯来地区内には 2 館の公民館が設置されていますが、老朽化が進んでいます。公民館を合併後も引き続き住民が安心して気持ちよく使える施設とするため、空調設備などを改修します。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
公民館整備事業	○湯来南公民館、湯来西公民館の空調設備などの改修	6,600 万円

(2) 教育環境の整備

子どもたち一人ひとりの個性を生かし、「豊かな心」と「たくましく生きる力」を育成する

ため、社会の変化に対応する特色ある学校教育の推進や、楽しく学び合い活動することができる教育環境、教育条件の整備・充実に取り組んでいく必要があります。

湯来地区には、小学校3校、中学校2校が設置されていますが、中学校のプールや保健室、職員室などの空調設備などが未整備となっているうえ、施設の老朽化が進んでいます。

このため、中学校のプール新設をはじめ、すべての学校の保健室、職員室などへの空調設備の整備などを進めるとともに、校舎や体育館などの学校施設を計画的に改修することにより、快適な教育環境の確保や耐震性の強化を進めていきます。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
小学校整備事業	○空調設備、職員休養室、校内LANの整備*及び大規模改修	5億3,500万円
中学校整備事業	○プール、空調設備、職員休養室、校内LANの整備及び大規模改修	

(3) 子育てにやさしい環境づくり

核家族化や女性の社会参加が進む中で、安心して子育てができる環境の整備・充実などが求められています。

湯来地区には、保育園2園が設置されていますが、自園給食調理設備や保育室の空調設備などが未整備となっています。

このため、自園給食調理設備や空調設備の整備などを進めることにより保育サービスの一層の充実を図ります。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
保育園整備事業	○自園給食調理設備、空調設備の整備及び大規模改修	6,300万円

(4) 福祉のまちづくりの推進

少子・高齢化の進展、家族形態の変化、女性の社会進出、価値観や生活意識の変容などに伴い、住民の福祉ニーズは複雑かつ多様化するとともに、増大してきています。また、ノーマラ

イゼーションの理念*の浸透などにより、高齢者や障害者等の自立の機運が高まっており、今後とも、高齢者や障害者等自らが主体性、自立性を持って積極的に社会参加していくことが必要となっています。

このため、様々な福祉の対象者に対する各種支援施策、専門性の高いサービス、症状の重度化した者に対するサービス等行政や社会福祉施設において実施する各種福祉サービスの一層の充実を図っていきます。

特に、公共施設については、高齢者や障害者をはじめすべての人が安全で快適に利用できるよう、手すりの設置や段差解消などの改善、整備を計画的に行っていきます。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
福祉のまちづくり環境整備事業	○公共施設の福祉環境の整備・改善	1億5,900万円

(5) 災害に強いまちづくりの推進

湯来地区は、急峻な地形や複雑な流路を呈している河川が多く、自然災害が発生しやすい状況にあります。

このため、地域の防災性を向上し、安全で快適な生活環境を確保するため、木路谷川で実施している砂防事業*を継続するとともに、道路や民地へ冠水するおそれのある河川の整備を周辺の生態系や自然環境に配慮しながら計画的に推進します。

また、災害発生時に住民の生命、身体及び財産を保護し、被害を最小限に抑えるため、日頃から災害に強いまちづくりを推進し、住民の防災行動力の向上や様々な災害応急対策活動を迅速かつ円滑に行うことのできる組織体制を整備することが必要です。

具体的には、防災訓練の実施や応急手当の普及啓発、自主防災会の設立などの取り組みに加え、防災行政無線*をはじめとした災害に関する情報を迅速かつわかりやすく伝達するための情報収集・連絡体制の整備、消防力強化のための消防施設等の整備や消防団の充実・強化、避難場所における食料、生活必需品の備蓄など、広島市域と一体となった広域的な消防防災体制の整備を図ります。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
河川整備事業	○河川（峠川、柏谷川など）の改修	16億100万円
消防防災体制充実・強化	○情報収集・連絡体制の整備 ○消防施設等の整備 ○消防団の充実・強化	
防災備蓄体制整備事業	○食料、生活必需品等の配備	
通常砂防事業	○木路谷川えん堤の整備	(県事業)

(6) 庁舎の整備

多様な行政ニーズに対応し、効率的、機能的な行政運営を行うため、住民生活に急激な変化を及ぼさないよう配慮しながら、湯来地区にふさわしい規模・機能の庁舎を整備します。

【具体的施策】

事業名	事業概要	概算事業費
庁舎整備事業	○庁舎の整備	2,000万円

4 経費の概算

平成 17 年度（2005 年度）から平成 32 年度（2020 年度）までの計画期間内に、事業計画の実施に要する経費の概算は、次のとおりです。

区 分	概算事業費
多彩な地域資源を活用した交流を支えるまちづくり	242 億 200 万円
自然環境と共生する快適で住みよいまちづくり	23 億 1,000 万円
健康で安心して生き活きと暮らせるまちづくり	24 億 4,400 万円
小 計	289 億 5,600 万円
事業実施に伴う公債費	44 億 7,900 万円
合 計	334 億 3,500 万円

第4 公共的施設の統合整備

公共的施設の有効活用や効率的な管理運営などに努め、施設の統合整備にあたっては、住民の利便性を確保し、生活に急激な変化を及ぼさないよう十分配慮するとともに、地域の特性やバランスを考慮しながら計画的に取り組むものとします。

第5 財政計画

1 歳 入

区 分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
地 方 税	1962	1000	2001	7400	2101	4300	2126	0500	2022	8300	2011	4200	1999	0800	1997	2200	2008	0300	2006	3500
地方譲与税等	375	4800	404	0300	289	7000	274	6300	263	1800	256	5500	253	9700	239	1300	252	0800	251	4400
地方交付税	477	9500	452	9000	413	9300	451	9000	390	7300	423	4500	404	6000	410	8400	366	8900	391	7600
国・県支出金	936	4800	926	1300	997	8400	1002	6200	1276	6400	1276	2200	1318	6700	1316	3100	1442	6100	1499	0500
地 方 債	487	0100	481	2700	505	5200	572	0300	623	2200	711	1400	719	5800	896	0100	641	4500	730	0700
そ の 他	996	9000	1070	9500	1111	0200	1102	6300	1168	0900	1190	0000	1189	4300	993	0500	1028	3100	1167	8500
歳 入 合 計	5235	9200	5337	0200	5419	4400	5529	8600	5744	6900	5868	7800	5885	3300	5852	5600	5739	3700	6046	5200

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合 計		
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	兆	億	万円
地 方 税	2006	3500	2006	3500	2006	3500	2006	3500	2006	3500	2006	3500	3	2274	3500
地方譲与税等	251	4400	251	4400	251	4400	251	4400	251	4400	251	4400		4368	8300
地方交付税	360	0400	360	1100	360	1800	360	4800	360	9300	361	3400		6348	0300
国・県支出金	1414	7900	1416	9300	1414	2800	1414	4400	1414	1100	1413	5900	2	0480	7100
地 方 債	689	5100	696	7700	701	7900	682	6500	683	0200	682	5200	1	0503	5600
そ の 他	1128	0500	1128	4500	1129	0800	1127	7600	1127	9500	1128	0900	1	7787	6100
歳 入 合 計	5850	1800	5860	0500	5863	1200	5843	1200	5843	8000	5843	3300	9	1763	0900

2 歳 出

区 分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
人 件 費	850	5000	857	9900	898	6900	872	9100	875	2600	867	2200	847	2300	826	6100	797	8700	839	3500
物 件 費・ 維持補修費	656	3800	640	5400	645	7300	640	4700	675	4400	643	3700	659	2800	647	5600	651	5300	700	1800
扶 助 費	938	5900	955	7000	996	6400	1030	2800	1101	6800	1301	3100	1359	5200	1359	2800	1366	9200	1431	6100
補 助 費 等	349	7000	344	9700	328	4400	414	3300	611	3400	427	2500	439	3400	448	6600	474	1800	532	6000
投資的経費	827	7200	902	7400	935	5800	889	4700	788	3600	797	8500	832	8600	841	9200	874	3100	913	4700
公 債 費	673	3000	679	1800	672	3500	737	7200	720	6600	598	2800	581	4600	571	7100	636	5800	726	7600
そ の 他	884	4000	899	6200	878	9500	895	3600	948	1600	1175	9300	1115	6100	1083	1500	873	3700	902	5500
歳 出 合 計	5180	5900	5280	7400	5356	3800	5480	5400	5720	9000	5811	2100	5835	3000	5778	8900	5674	7600	6046	5200

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合 計	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	兆	億 万円
人 件 費	839	2200	839	2200	839	2200	839	2200	839	2200	839	2200	1	3568 9500
物 件 費・ 維持補修費	699	0900	699	0900	699	0900	699	0900	699	0900	699	0900	1	0755 0200
扶 助 費	1429	3900	1429	3900	1429	3900	1429	3900	1429	3900	1429	3900	2	0417 8700
補 助 費 等	532	0700	532	0700	532	0700	532	0700	532	0700	532	0700		7563 2300
投資的経費	751	6800	761	4500	764	4200	743	9800	744	0300	742	9700	1	3112 8100
公 債 費	726	8100	726	9100	727	0100	727	4500	728	0800	728	6700	1	0962 9300
そ の 他	871	9200	871	9200	871	9200	871	9200	871	9200	871	9200	1	4888 6200
歳 出 合 計	5850	1800	5860	0500	5863	1200	5843	1200	5843	8000	5843	3300	9	1269 4300

■ この財政計画は、一般会計について、平成25年度までの各年度は決算額を記載し、平成26年度以降の各年度は、平成26年度当初予算をベースに、合併建設計画事業費の増減等を反映した額を記載している。

用語の解説

校内 LAN の整備

すべての小中高養護学校からインターネットにアクセスでき、すべての学級のあらゆる授業において教員及び生徒がコンピュータを活用できる環境整備

ごみ最終処分場

生活環境の保全上支障の生じない方法で、廃棄物を適切に貯留し、安定な状態にするための施設

砂防事業

土石流から地域住民の生命・財産を守るため、土石流危険溪流において、砂防えん堤等の整備を行う事業

循環型社会

廃棄物の発生抑制、循環資源の循環的な利用、適正な処分の確保によって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができるかぎり低減される社会

農業集落排水施設

農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域内の集落において、農業用水の水質保全と生活環境の改善を図るためのし尿や生活雑排水等の污水处理施設

ノーマライゼーションの理念

障害のある人もない人も、共に地域の中で生活し、活動できる社会こそが普通（ノーマル）の社会であるという考え方

防災行政無線

市の防災関係部局相互間や地域とを無線通信網で結び、災害時等における指示、報告、情報収集、広報等の活動を効率的に行うシステムで、電話などが使えなくなった場合にも有効な情報連絡手段となる。

平成26年12月18日 変更